

事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハグピア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースが確保されています。コロナ禍のため、それぞれのデスクを移動可能式にしており、密な状態になりそうな場合やオンライン会議をする場合、デスクを移動し距離を保てるようにしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上の職員数を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもが走り回っても大丈夫なように、待合室には余計なものを設置していない。掲示物などは画紙などでとめずピックアップレールを活用しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃及び、コロナウイルス感染予防の為に消毒を適時行っております。視覚的・聴覚的・触覚的・臭覚的・味覚的の刺激になるものは設置しないようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		環境整備・清掃・物品管理などそれぞれ役割分担をし、全体管理を児童発達支援管理責任者が行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		「お気づきシート」を設置し、いつでも保護者の方が意見を述べられるようにしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		まつど育成会のホームページに掲載しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		法人の第三者委員に事業について報告しています。また、保護者から提言された内容を踏まえ、例えば加湿器の種類など変えて対応しています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部からのスーパーバイズやコンサルテーションを受ける機会を設けています。また、初級ABAセラピスト研修で合格した職員に関してはフォローアップ研修を受けてもっています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日々のセラピー(支援)の中で子どもの成長を考慮し課題構成を行い、保護者の方と共有しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		新版K式発達検査とESCS(早期コミュニケーション評価)の検査をNPO法人ADDSの指導のもと行っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子さんの様子を観察し、障がい特性やその子の得意な部分・苦手な部分など、あらゆる角度から分析し、保護者の気持ちや考えを考慮しつつ、スモールステップで成功体験を積み学習していけるよう、日々の課題構成を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		各担当セラピストと話し合いながら、設定している課題をすすめています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援の中で例えば「運動プログラムを入れよう」と課題を構成した場合、どう行うかなどは担当セラピストと児童発達支援管理責任者で話し合っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		課題の内容は常に変化しているため、固定化されることが滅多にありません。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		現在、個別支援のみ行っているため、集団活動については明記していません。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務日報やケース予定表で毎日確認できるようにしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回ケースの振り返りを行い、次回のセラピーでどうすべきかなどを共有しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		課題シートに毎回記録しています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎に児童発達支援計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各機関から要望がある際は関係者会議などへ参加しています。また、電話での聞き取りなどに応じています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象者がいません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象者がいません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要がある場合は、相談支援機関と連携をとり情報を共有しています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要がある場合は、相談支援機関と連携をとり情報を共有しています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		NPO法人ADDSのスーパーバイザーからスーパーバイズを月1回は受け、また、うめだあけぼの学園の作業療法士からコンサルテーションを月1回は受け、アドバイスや考え方を教授していただいています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、コロナ禍のため特に機会を設けていません。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		同一法人内の職員が地域のこども部会などへ参加しております。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		ケース開始前に聞き取り、ケース終了後にフィードバックを行う時間を設け、お子さんについて情報を共有しています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		常事業所で行っている「ペアすく」というプログラムはご家庭でも課題を行ってもらって保護者参加型になっています。ネットシステムを活用し、課題の進捗状況などを共有できるようにし、課題のやり方などはセラピー時に伝えています。		
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。何か質問等ある場合は常に対応しています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画書を元に提供する支援内容、課題等について説明を行っています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		来所時に1週間の様子などを聞く中で悩み等に応じています。必要があれば相談支援事業所へ繋ぎ、できるだけ迅速かつ丁寧に応じるようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35		○	現在、コロナ禍のため人を集めるようなイベントは遂行していません。	
	36	○		迅速かつ的確に対応するように心がけています。必要がある場合は、相談支援事業所と連携をはかっています。	
	37	○		ケースの様子に関してはケース終了後のフィードバックで常に行い、連絡体制などはメールや電話連絡等で伝えています。広報誌は弊法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししています。	
	38	○		鍵付き棚に保管しています。	
	39	○		お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。また保護者の方とはPECSやサインなど共有し、日常に般化できるよう努めています。	
	40		○	現在、コロナ禍のため遂行していません。	
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを整備しています。ご家族には契約時に十分な説明をしています。また、追加や改定などあった場合は速やかにお知らせするようにしています。	
	42	○		法人規定により定期的実施をします。職員は法人内で行われる訓練や講習に参加します。	
	43	○		面談や見学时、また契約時などに確認を行っています。また来所さ度に日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	
	44	○		小麦粉アレルギーなどを把握し、おもちゃや教材で使用する物に関して米粉粘土をしようする等で対応しています。	
	45	○		日報に欄を設け日々記載してもらい全体で共有できるようにしています。	
	46	○		弊法人全体の研修や新人研修時に教示しています。	
	47	○		むやみに母子分離をすることはありませんが、学習基盤を整える中で母子分離を行う際などに協力をしていただく事など、想定できる内容を提示し伝えています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

アンケート期間: 令和4年4月19日～令和4年5月10日

事業所名 ハグピア

保護者等数(児童数)25 回収数 20 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	0		基準以上のスペースが確保されています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0		基準以上の職員数を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	0	0	1		子どもたちにわかりやすい情報提供と、環境づくりを行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	0		毎日の清掃及び、コロナウイルス感染予防の為に消毒を適時行っております。視覚的・聴覚的・触覚的・嗅覚的・味覚的の刺激になるものは設置しないようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	0		日々のセラピー(支援)の中で子どもの成長を考慮し課題構成を行い、保護者の方と共有しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0	0		お子さんの様子を観察し、障がい特性やその子の得意な部分・苦手な部分など、あらゆる角度から分析し、保護者の気持ちや考えを考慮しつつ、スモールステップで成功体験を積み学習していきけるよう、日々の課題構成を行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	0		各担当セラピストと話し合いながら、設定している課題をすすめています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	0		課題の内容は常に変化しているため、固定化されることが減多にありません。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	8	7	・子どもが園に通っているため、児童発達のプログラムとしての必要性はない。	現在、コロナ禍のため特に機会を設けていません。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	0		利用者負担等は、契約時に重要事項説明書等にて説明を行っています。また、ご不明点等がある場合は都度対応しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19	0	0	1		児童発達支援計画書を基に提供する支援内容、課題等について説明を行っています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20	0	0	0		ご家庭でも課題を行っていただく保護者参加型のプログラムを組んでおります。ネットシステムを活用し、課題の進捗状況などを共有できるようにし、課題のやり方などを利用時に伝えています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	・活動(療育)前に子どもの様子を共有していただいています。 ・次のステップがわかりやすくありがたいです。	ケース開始前に聞き取り、ケース終了後にフィードバックを行う時間を設け、お子さんについて情報を共有しています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	0	・毎週ヒアリングがあるため、それ以上は現状必要性を感じない。	来所時に1週間の様子などを聞く中で悩み等に応じています。必要があれば相談支援事業所へ繋ぎ、できるだけ迅速かつ丁寧に対応するようにしています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	8	8	・保護者会などはあれば参加すると思うが、積極的には考えていない。	現在、コロナ禍のため保護者会等は開催していません。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1	0	1		迅速かつ適切に対応するように心がけています。必要がある場合は、相談支援事業所と連携をはかっています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	0		お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。また保護者の方とはPECSやサインなど共有し、日常に般化できるよう努めています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	0	0	4		連絡事項などはメールや電話連絡等で伝えています。法人全体では、年4回広報誌「Ohana」を発行しています。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	0	0	0		利用開始時に取り交わした契約書等の内容に基づき取り扱っております。	
非常時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	0	1	4	・マニュアルが用意されているのは知っている。	マニュアルは整備しており、契約時にマニュアルの設置場所や取り組みについてお伝えしています。把握しやすいよう適宜伝えていくよう務めます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
の 対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	2	9		コロナ禍ということもあり職員の訓練にとどまり、子どもたちを交えての避難訓練は行えていません。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場で車から降りて「ハグピアにきた」ことが分かるようでニコニコしています。 ・通い始めたばかりでまだ泣いてしまいます。 ・まだ3回目ですが「行きたい」と言っても楽しみにしています。 	お子さんに楽しんで通っていただけるよう、また保護者の方が安心できるよう努めて参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	20	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせて、難しすぎず易しすぎない、丁度よい課題を設定してもらえて、大きく伸びました。 ・大変満足しております。 	お子さんや保護者の方に満足していただけるよう、これからも療育の質の向上に努めて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。